

企画展

「いたみ」を綴る

短歌にこめた戦傷病者の労苦

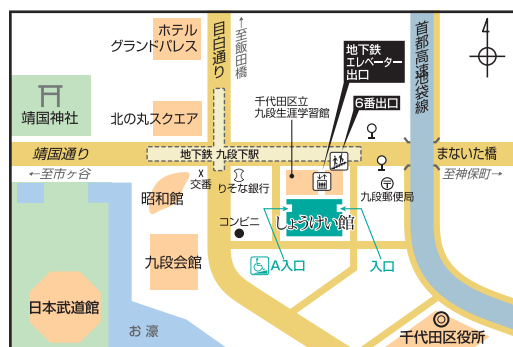
開催趣旨

戦傷病者が詠んだ短歌には、戦中に体験した戦争の過酷さや当時の想い、戦傷病による身体的・精神的な労苦、また、戦後に経験した生活上あるいは経済的な労苦などが表現されています。

今回の企画展では、これらの短歌を時代とテーマに分けて、とりわけ戦傷病者の戦後の労苦が表現されている短歌をご紹介します。あわせて、戦傷病者の生活を支えたその家族が戦傷病者の労苦を表現した短歌や関連する写真、実物資料、戦傷病者の証言映像もご紹介します。

また、会期中、当館開館3周年を記念して、戦傷病者の方により自らの体験を語っていただく「講演会」等の関連イベントを開催します。ぜひご来館下さい。

主催：しょうけい館
会期：平成21(2009)年3月11日(水)～5月10日(日)
会場：しょうけい館1階
入場料：無料
開館時間：10:00～17:30(入館は17:00まで)
休館日：毎週月曜日・5月7日(木)
内覧会：平成21(2009)年3月10日(火)15:00～17:00



関連イベント：1. 講演会「生きるーそれは死ぬよりつらかったー私の戦中・戦後の体験労苦(仮題)」
戦傷病者が自らの体験を語る講演会
2. 短歌コンクール「短歌で表現した戦傷病者の労苦」 3. 学芸員による展示解説

所在地：〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-13 共同ビル九段2号館

問い合わせ：(電話) 03-3234-7821 (FAX) 03-3234-7826

交通案内：地下鉄をご利用の場合……「九段下」駅6番出口から徒歩1分(東西線、半蔵門線、都営新宿線)
都営バスをご利用の場合……「九段下」停留所から徒歩1分(高71系統(九段下～高田馬場駅))

ホームページ：<http://www.shokeikan.go.jp>

その他：駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。
車椅子で来館される場合は館のA入口をご利用ください。

展示短歌と資料 ※以下はその一部

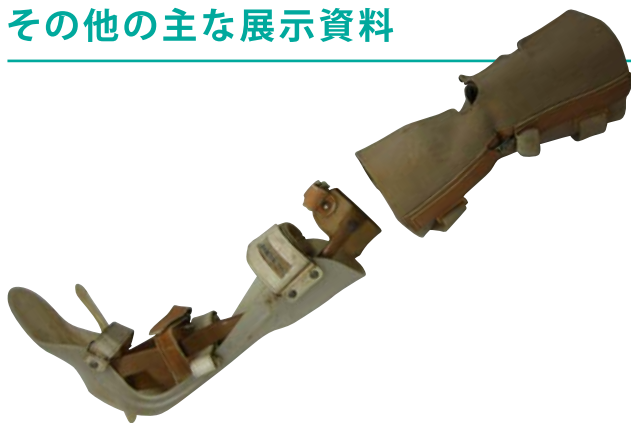
「頑張れと云いきし療友も
無理すなといわれし友ぬ
先に逝きたり」

箱根療養所に入所していた戦傷病者がよんだ短歌

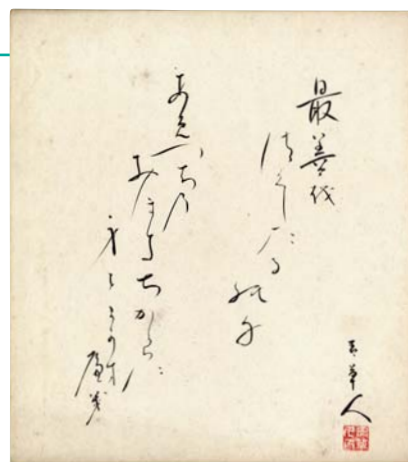


療友とともに作った竹製の彫刻及びその制作風景写真

その他の主な展示資料



足の補助器具



色紙

「鴻羽の軽きは人の命かな
戦の庭に傷付きし人」

「傷痕なる吾らも年を経にければ
忘れられゆく今の世の中」

関連写真



戦後の支えあい



関連映像紹介：戦傷病者の証言映像の上映

当館1階証言映像シアターにて、当館が今までに制作した戦傷病者の証言映像の中から、今回の企画展テーマ「短歌」に関連する映像をセレクトし、上映いたします。

また、これらの証言者がよんだ短歌をパネルでも紹介いたします。

(開館時間中、以下のプログラムを連続上映)

映像タイトル	証言内容	所要時間
暖かい支援に支えられて	箱根療養所に入所していた脊髄損傷の戦傷病者の証言	9分 55秒
三回の入院を乗り越えて	戦地での病と負傷を経験した戦傷病者の証言	13分 50秒
赤レンガのぬくもり	右腕切断の戦傷病者の証言	13分 3秒
七転八起	日赤救護看護婦の女性と結婚した戦傷病者の証言	14分
失明の恐怖とシベリア抑留	両眼失明の戦傷病者の証言	8分 36秒
かけがえのない同胞とともに (日赤救護看護婦)	南方に派遣された日本赤十字社救護看護婦の証言	14分 19秒
見た目はなんでもないが…	両手機能障害の戦傷病者の証言	9分 36秒
傷痍軍人の妻として…	傷痍軍人の妻3名による鼎談(座談会)	14分 45秒

証言内容 一例

「失明の恐怖とシベリア抑留」(8分36秒)

昭和19年10月、千島列島の小島シムシル島(新知島)で敵の投下爆弾により受傷。軍医から左眼回復の見込みなしと告げられる。占守島で終戦を迎えシベリアへ抑留される。厳寒の中、強制労働に従事、右眼も視力乏しくなり医務室を受診。左眼摘出するも右眼の視力戻らず失明。21年末、帰国。東京の国立光明寮に入所し鍼灸を学び、26年、職を得る。同年結婚。

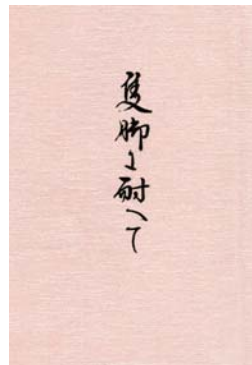
失明により変わってしまった人生、年老いた両親の悲しみを思いやる。

短歌 「戦盲のまぶたにえがく吾が娘花嫁姿あでやかなるか」

★この他にも館内情報検索コーナーで当館制作の戦傷病者の証言映像(全72本)をご自由に検索・ご覧いただけます。

関連図書紹介

図書閲覧室では本企画展に関連する歌集や体験記などの図書を紹介します。



関連イベントの開催

◎講演会「生きる－それは死ぬよりつらかった－私の戦中・戦後の体験労苦」(仮題)

戦傷病者の方に自らの体験を語っていただきます。

日時：3月20日(金・祝) 14:00～15:00

場所：当館1階証言映像シアター

※都合により当日中止する場合がございます。その際は、学芸員による展示解説となります。

★当日参加も可能ですが、席に限りがございますので(約30名)、ご参加ご希望の方は当館まで一度ご連絡ください。

◎短歌コンクール「短歌で表現した戦傷病者の労苦」

会期期間中、戦傷病者の労苦を表現する短歌を、戦傷病者をはじめその他広く一般の方々から公募します(4月30日締切)。応募資格は問いません。戦傷病者やそのご家族の方々はもとより、戦争を体験していない方でもふるってご参加ください。優秀短歌には当館館長賞の授与と粗品を進呈します。

◎学芸員による展示紹介

学芸員が企画展の展示解説をします。

日時：3月21日(土)、4月4日(土)、5月2日(土) 14:00より約30分 ※当日参加自由